

第17単元 正多角形と円周の長さ①

問題番号	配点	解 答 (許容)	評価規準	つまずきと指導の手だて	
①	①	20	① 72° ② 60°	[知技]正五角形や正六角形では、円の中心のまわりの角がそれぞれ5等分、6等分されていることを理解している。	図を見ながら、正五角形では5等分、正六角形では6等分され、合同な三角形ができていることに気づかせる。
	②	(各10)			
②	①	30	(略)	[知技]円を用いて、正五角形と正六角形をかくことができる。	円の中心のまわりの角を何度ずつに等分すればよいかを考えさせ、分度器で角をはかって、順に作図させていく。ある程度の誤差は許容とするが、なるべく正確にかかせたい。
	②	(各15)			
③	①	10 (各5)	式 $20 \times 3.14 = 62.8$ 答 62.8cm	[知技]直径や半径から円周を求める方法を理解し、求めることができる。	円周を求める公式(円周 = 直径 × 円周率)を確認する。
	②	10 (各5)	式 $3 \times 3.14 = 9.42$ 答 9.42m		
	③	10 (各5)	式 $6 \times 2 \times 3.14 = 37.68$ 答 37.68cm		
	④	10 (各5)	式 $5 \times 2 \times 3.14 = 31.4$ 答 31.4m		
④	10 (各5)	式 $(\square \times 3.14 = 78)$ $78 \div 3.14 = 24.84\dots$ 答 (約)24.8cm	[知技]円周から直径を求めることができる。	直径と円周の関係を確認し、円周を求める式から、直径を□cmとして $\square \times 3.14 = 78$ と立式し、逆算で求めさせる。	

第17単元 正多角形と円周の長さ②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① 10 ③ 2	[思判表]円周を求める公式を基に、2つの円の円周の差を求める考え方を説明している。	2つの円の円周の差が、直径の差に円周率をかけたものになっていることを、実際に式を変形することで確かめさせる。
	② 8		
②	① オ ③ ㊦	[思判表]円や半円などのまわりの長さを求める式を選択している。	②は円の $\frac{1}{4}$ 、③は円の $\frac{1}{2}$ であることに気づかせ、求めさせる。
	② イ		

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	5問以上	4～3問	2問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。